



都市及びその周辺の地域における農業の振興に向けた
食と地域の交流促進対策交付金の活用について

平成23年6月

農林水産省

食と地域の交流促進対策交付金はこんな交付金です！



この交付金は、食をはじめとする豊かな地域資源を活かし、集落ぐるみの都市農村交流等を促進する取組を支援するため、平成23年度に創設された交付金です。

このうち、都市農業については、都市農地の保全や都市農業の振興を促進する各種取組や施設等の整備に対して支援を行っています。

食と地域の交流促進対策交付金【非公共】
(平成23年度予算額 1,703百万円の内数)

食と地域の交流促進集落活性化対策(都市農業の振興) 【ソフト事業:定額】

- (1) 市民農園開設のための情報・ノウハウの提供
- (2) 農業体験農園の全国的な普及を図る取組を支援
(農園開設のための研修、PR活動等)
- (3) 都市農業の振興及び都市農地保全のためのモデル的取組を支援
(例:高齢化等による労働不足を解消するための援農ボランティア育成・派遣の取組等)



農業体験農園普及に係る取組



援農ボランティアの取組

事業実施主体は集落等
公募方式により国が直接採択し支援

都市農業振興整備対策 【ハード事業:1/2以内】

都市農業の振興に必要な施設等の整備



市民農園の整備



災害時にも使用可能な井戸の整備



土留工



親水護岸の整備

事業実施主体は市町村又は民間団体
公募方式により国が直接採択し支援

食と地域の交流促進対策交付金（都市農業の振興）

都市部の現状・課題

都市部においても農業者の高齢化が進行し、担い手不足により都市農地の保全が危ぶまれている

市民農園を開設したいが開設や運営方法がわからない

農業体験してみたいという都市住民が増えている

都市住民の都市農業や地場農産物への理解が不足している



都市農業の機能や効果 に対する都市住民の理解の促進

人材育成

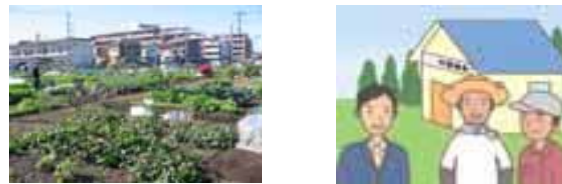
援農ボランティア等新たな担い手の育成



都市農地の保全に基づく緑地空間の確保

市民農園の開設支援

開設希望者への情報(ノウハウ)提供等



都市住民の農業体験環境の整備

都市住民の農業への理解の醸成

地場農産物の都市住民へのPR



都市農業への理解の促進

将来の姿

援農ボランティア等担い手の増加

市民農園等農業体験の機会の増加

都市農業の理解の促進
(都市部の農産物の評価の向上)

都市農地の有効活用や地場農産物
販売拡大
(目標年度に市民農園を 区画開設)

都市農地の保全と
都市農業の振興

「食と地域の交流促進対策交付金」による支援

食と地域の交流促進集落活性化対策(都市農業ソフトのイメージ)

市民農園のネットワーク化の形成

円滑な市民農園の運営のため、農園管理者と農園利用者間、さらには農園管理者及び農園利用者間同士の情報交換を目的としたネットワーク化の整備を支援。



(参加者) J A、NPO法人、農家、自治体等

農業体験農園の整備による都市農地の有効活用

都市部における農園の開設や運営に係るノウハウの提供により、農業体験農園の開設を促進する取組に対して支援。



(参加者) J A、NPO法人、農家、自治体、集落(自治会)等

地域ブランドの育成による地場農産物の販売と利用の拡大

地域農業の活性化を図るため、地域ブランド農産物を活用した商品開発等を行うとともに、都市部における土づくりや環境に配慮した栽培方法、耕作放棄地の再生等の取組に対して支援。



(参加者) J A、商工会議所、農家、自治体、集落(自治会)等

小学校等校区単位の地域を対象とした地場農産物の学校給食への利用促進

地場農産物の消費拡大を図るため、学校給食への地場農産物の利用促進を目的とした農産物集荷システムの構築に対して支援。



(参加者) J A、学校(調理員含む)、農家、集荷組織、自治体等